2025年度(2026年度刊行)井上円了記念研究助成

東洋大学出版会による刊行の助成 出版計画調書

申請日 年月日

【1】で1ページ以内

【1】申請情報						
	フリガナ					
申請者氏名						
所属	 ※応募時点お	よび2026年度の刊行時に本学専任	職位 教職員であること。			
出版書概要	出版書名				執筆 形態	選択してく ださい
出版物の内容			アイテムを選択してください。			
完成原稿の有無			アイテムを選択してください。			
頁数見込(35字詰×30行=1050字を基準として算出すること)			約頁			
図表数見込み			図 点・表 点			
希望出版部数(積算根拠の概要を添付すること)			部			
労会社等。の内生担封弗田はいの 参切(L四40-T円)			有(希望額 円)・無			
学会誌等への広告掲載費用補助の希望(上限10万円)		掲載予定()				
編集に係る人件費・業務委託費用補助の希望(上限20 万円)		有(希望額 円)・無				
			編集委託先予定()			
井上即採択到		アイテムを選択してください。	アイテムを選択して	ください。	状課題 最新のみ)	
		※過去に採択され、研究終了後1年以内の研究成果発表報告義務を果たしていない者は応募できません。(2023年度に採択された課題は2025年3月末までに成果の発表をしていない場合、応募できません。)ただし、合理的な事由がある場合には、その理由とともに当該年度中の研究成果を報告する(自由書式)ことにより、応募を認めます。				

【2】出版物の内容(概要)	

【3】出版の目的 ・・・ 以下の点について焦点を絞り、具体的かつ明確に記入してください。 ①出版の背景(着想に至った経緯等、これまでの研究経過・研究成果との関連) ②当該分野におけるこの出版物の学術的な特色・独創的な点および意義
【4】研究業績(発表論文・著書等) 学会発表や学会誌等に発表した論文・著書等のうち、本著書に関連する重要な研究成果を示すものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼって記入してください。 論文名、著書名、著者名、学協会誌名、巻(号)、最初と最後のページ、発表年(西暦)について記入してください。(以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略(省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入)しても可。)
学会発表や学会誌等に発表した論文・著書等のうち、本著書に関連する重要な研究成果を示すものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼって記入してください。 論文名、著書名、著者名、学協会誌名、巻(号)、最初と最後のページ、発表年(西暦)について記入してください。(以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略(省略する場合、その員数
学会発表や学会誌等に発表した論文・著書等のうち、本著書に関連する重要な研究成果を示すものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼって記入してください。 論文名、著書名、著者名、学協会誌名、巻(号)、最初と最後のページ、発表年(西暦)について記入してください。(以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略(省略する場合、その員数
学会発表や学会誌等に発表した論文・著書等のうち、本著書に関連する重要な研究成果を示すものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼって記入してください。 論文名、著書名、著者名、学協会誌名、巻(号)、最初と最後のページ、発表年(西暦)について記入してください。(以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略(省略する場合、その員数
学会発表や学会誌等に発表した論文・著書等のうち、本著書に関連する重要な研究成果を示すものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼって記入してください。 論文名、著書名、著者名、学協会誌名、巻(号)、最初と最後のページ、発表年(西暦)について記入してください。(以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても可。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略(省略する場合、その員数

5】共者について 共著の場合は、内容の過半を「応募資格のある者」が執筆している必要があります。目次・執筆者・執筆者身分・頁数等を 記入して、応募資格のある者が内容の過半を執筆していることを示してください。

- ※以下に該当するものは 助成対象外です。該当しないことを確認のうえ、応募してください。
 - (ア) 既に公表されている論文を単に集成し、刊行するもの
 - (イ) 既に刊行されている書籍を改訂、増補し刊行するもの
 - (ウ) 授業の教科書として使用する目的で刊行するもの
- ※出版計画調書について、記載事項の書き換えや指定ページ数以上の記載欄の拡張等、書式改変は禁止します。
- ※出版計画調書データおよび原稿データ(USB等)とともに各キャンパス担当窓口へ提出してください。
- ※提出いただいた調書については、事務局で一切の修正等は行わず審査委員に送付されます。